

富医発第551号  
2025年11月4日

報道関係者各位

公益社団法人富山県医師会  
富山県糖尿病対策推進会議  
会長 村上美也子  
(公印省略)

2025年度 World Diabetes Day 関連イベント報道のお願いについて  
～糖尿病から世界共通語の Diabetes（ダイアベティス）～

日頃から富山県医師会の活動にご協力をいただき感謝申し上げます。11月14日は国連により制定されたWorld Diabetes Dayです。この日は、糖尿病についての認識を高め、予防や治療に向けた対策を促進することを目的にしており、一般市民に周知する重要な機会となっています。富山県でも11月14日のWorld Diabetes Dayに関連して数々のイベントが予定されています。その中でもWorld Diabetes Dayのシンボルである「ブルーサークル」にちなんで、11月14日を含む一週間をダイアベティスウィークとして11月10日（月）から11月16日（日）までの間、富山城、インテックビルタワー111、富山県美術館をブルーにライトアップ致します。今年度もWorld Diabetes Day周知のため報道で取り上げていただくようにお願い申し上げます。

さて、近年の糖尿病治療は飛躍的に向上し、正しく治療を受ければ糖尿病合併症の予防ができ、30年前に比べて日本の糖尿病患者の平均寿命は男性8.3歳、女性で10.2歳延伸しており、一病息災を実現することが可能となりました。しかし、多くの糖尿病患者は血糖管理において身体的な治療に加え、合併症への不安など精神的ストレスにも直面しており、その両面でのケアが必要と言われています。最近では、糖尿病患者の身体的ケアだけではなく、心理的サポートの必要性にも焦点が当てられています。糖尿病への誤解や偏見をなくすためにも県民の皆様に糖尿病を正しく理解していただき、患者に対する周囲の理解とサポートが不可欠であると知っています。大切なことです。

そのため、啓発活動においては報道関係者各位のご協力が必要であり、マスコミの皆様に取り上げていただくことで県民に关心を持っていただき、糖尿病の予防や治療に繋がる契機と成ります。今年度のWorld Diabetes Dayに関連した県内のイベント一覧は、富山県医師会ホームページに掲載しておりますので、県民の皆様に伝わるよう報道を何卒宜しくお願い申し上げます。

問合せ先：富山県医師会事務局 櫻井（TEL 076-429-4466）

【添付資料】

- ・「World Diabetes Day」に関連した県内イベント一覧
- ・「World Diabetes Day」趣旨等
- ・富山県糖尿病対策推進会議について
- ・富山県糖尿病対策推進会議幹事名簿

## 2025 年度 World Diabetes Day 関連イベント《富山県内》

【 ブルーライトアップ 】 場 所		日 時	
富山城址公園・富山城		11月10日(月)～16日(日)	17:00～22:00
① インテックタワー111 ② 富山県美術館		11月10日(月)～16日(日)	日没～22:00
富山銀行本店ビル 西側前面壁(アルミルーバー側)		11月14日(金)	17:00～21:00
かみいち総合病院 2階渡り廊下(ホスピタルロード)		11月1日(土)～30日(日)	18:00～22:00(予定)
① 石動駅(11月10日(月)～14日(金)) ②クロスランドタワー(11月14日(金))			17:30～21:00

【健康講座・相談会・展示等】開催場所		開催日時	主な内容	主催・共催等
糖尿病教室 [あさひ総合病院 ひすいホール]	11月13日(木) 10:30～15:30	糖尿病ってどんな病気?・糖尿病と薬、検査、運動、食事 ポスター作成、掲示(10～14日)		あさひ総合病院 TEL(0765)83-1160
2025年度世界糖尿病デー糖尿病週間イベント [黒部市民病院]	10月下旬～ 11月中旬	① 病院イベント 病院ブルーライトアップ(14日 17:00～21:00) ブルーライミネーション、糖尿病講演会 勉強会、低カロリーデザート提供ほか ② 地域連携イベント オリジナル缶バッヂやブルーマスクを着用して診療 オリジナルホースター ステッカ貼付 下新川ブルーライトアップ(14日)		黒部市民病院 TEL(0765)54-2211 下新川郡医師会 行政機関
2025World Diabetes Day イベント [富山労災病院1階エントラス・2階採血室待合]	11月10日(月) ～14日(金) 8:30～16:00	1階エントラス 糖尿病川柳掲示 / 2階採血室待合 糖尿病劇場動画放映 院内ブルーライトアップ、ブルカラーセリ-病院給食提供(14日)		富山労災病院 TEL(0765)22-1280
World Diabetes Day in 滑川病院 [厚生連滑川病院 正面玄関]	11月14日(金) 10:00～12:00	フレイル予防 1階外来廊下のブルーライトアップ(10～17日 17:00～20:00)		厚生連滑川病院 TEL(076)475-1000
富山赤十字病院「糖尿病とウェルビーイング」 [富山赤十字病院 2階やすらぎホール]	11月7日(金) ～14日(金) 8:30～17:00	健康相談・栄養相談、クイズ、ペ-パ-フラワ-装飾、横断幕、デジタルサイネージ、ポスター展示 病院正面外壁ブルーライトアップ(14日 17:00～21:00)		富山赤十字病院 TEL(076)433-2222
World Diabetes Day 展示[富山市民病院1F 外来廊下] 講座[富山市まちなか総合ケアセンター] [富山市民病院 3F301会議室]	11月7日(金) ～17日(月)	ブルーサークル・ポスター展示、14日外来廊下 血糖・血圧測定 ブルーライトアップ(夜間入り口 日没～22:00) 糖尿病看護認定看護師による講演(14日・講堂 13:30～14:00) まちなか健幸カレッジ 5・12日(セ) 7・14・21・28日(病)13:30～14:00		富山市立富山市民病院 TEL(076)422-1112
無料検査測定・療養相談会 [富山西総合病院] [ファボーレ本館ファボーレパーク連絡口]	11月1日(金) ～30日(日)	病院ブルーライトアップ(1～30日) 院内: 血圧、血糖、HbA1c 測定会、療養相談会(14日 9:00～12:00) ファボーレ: 頸部エコ-、HbA1c・血糖・血圧・体脂肪測定、平衡感覚機能チェック等検査及び相談、食事測定、療養相談(15日 13:00～16:00)		富山西総合病院 TEL(076)461-7700
世界糖尿病デー2025 in 済生会 [済生会富山病院]	11月14日(金) 12:00～13:00	食事会、講演会		済生会富山病院 TEL(076)437-1111
射水市糖尿病 Day2025 [救急薬品射水市民プラザ 1階ふれあいホール]	10月19日(日) 10:00～11:30	特別講演①「心臓の病気と糖尿病について 心臓外科医の観点から」 射水市民病院 院長 深原 一晃先生 ②「フレイル・ロコモ・サルコペニアに打ち克つ! 糖尿病の運動療法」 射水市民病院 副院長 毛利 良彦先生		射水市医師会 TEL(0766)56-6005
糖尿病フェスタ [アルプラザ小杉]	11月15日(土) 14:00～16:00	無料血糖・血管年齢測定、フレイルチェック、血圧測定、薬剤・栄養相談 「糖尿病カフェ」11/13(15:00～16:00) 「ライトアップ」11/10～11/16		真生会富山病院 TEL(0766)52-2156
無料血糖測定・健康相談会 [イオンモール高岡 イオンホール]	11月15日(土) 10:00～15:00	血糖・HbA1c 測定、バルーンアートの提供 医師、看護師、管理栄養士、理学療法士による健康相談		JCHO高岡しき病院 TEL(0766)44-1181、 済生会高岡病院 高岡市民病院、厚生連高岡病院
第15回広げようブルーサークル in ひみ健康講座 [氷見市芸術文化館 2階ホール]	11月29日(土) 13:30～15:30	特別講演「糖尿病治療の課題と対策～これからの糖尿病支援に必要なこと～」 藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学准教授 清野祐介先生		氷見市医師会 TEL(0766)72-2135 ・氷見市・氷見市薬剤師会 金沢医科大学氷見市民病院
市立砺波総合病院 World Diabetes Day2025 [市立砺波総合病院 1階ロビー]	11月11日(火) 9:00～12:00	食事・運動・薬物指導 療養相談、血糖測定		市立砺波総合病院 TEL(0763)32-3320
南砺市民病院 World Diabetes Day [サンキュー福光 フレッサ店]	11月12日(水) 13:30～15:00	パネル展示、資料配布 個別相談(血圧、血糖測定、健康・栄養相談)		南砺市民病院 TEL(0763)82-1475
「災害に備えよう！」 [北陸中央病院 エントランスホール]	11月11日(火) 10:00～11:00	測定コーナー、体験コーナー、食品サンプル展示 北陸中央病院正面玄関ブルーライトアップ(4～28日 17:30～21:00) 小矢部市民図書館特別展示、小矢部市広報掲載		北陸中央病院 TEL(0766)67-1150



## World Diabetes Day Committee in Japan

### 世界糖尿病デーについて

世界糖尿病デー趣旨

世界糖尿病デーとは

世界糖尿病デー国連決議(PDF)

世界糖尿病デー実行委員会

### 2014 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

### 2013 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2012 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2011 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2010 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2009 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2008 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

### 2007 World Diabetes Day

全国各地のブルーライトアップ

世界各国のブルーライトアップ

シンポジウム詳細

日本サッカー協会協力イベント

## 「世界糖尿病デー」について

### 「世界糖尿病デー」趣旨

2021年現在、世界の糖尿病人口は5億3,700万人に上っており、2045年には約7億8,300万人に達すると試算されています※1。中でも日本が位置するアジア・太平洋地域の患者数の増加は深刻で、2021年は2億600万人と全世界の約1/3の糖尿病患者がこの地域に集中しています。我が国においても、糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2,000万人※2に上り、早急な対策が迫られています。

このような状況を踏まえ、国際連合（国連）は、IDF（国際糖尿病連合：現在約170カ国230団体が加盟）が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20日に国連総会議で採択しました、同時に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。11月14日は国連及び主要国で様々なイベントが開催されます。我国でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、各地で著明な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を実施しています。ぜひ国民の皆さんも世界糖尿病デーのイベントに参加して、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防にむけた一步を踏み出していただきたいと思います。

世界糖尿病デー実行委員会

※1 IDF DIABETES ATLAS 10th Edition2022  
(International Diabetes Federation)

※2 平成28年（2016年）国民健康・栄養調査（厚生労働省）



## World Diabetes Day Committee in Japan

### 世界糖尿病デーについて

世界糖尿病デー趣旨

世界糖尿病デーとは

世界糖尿病デー国連決議(PDF)

世界糖尿病デー実行委員会

#### 2014 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

#### 2013 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2012 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2011 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2010 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2009 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2008 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

#### 2007 World Diabetes Day

全国各地のブルーライトアップ  
世界各国のブルーライトアップ

シンポジウム詳細

日本サッカー協会協力イベント

### 「世界糖尿病デー」について

#### 世界糖尿病デーとは

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO

（世界保健機関）が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議（UN Resolution 61/225）」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。



世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、"Unite for Diabetes"（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

#### 世界で5秒に1人の命を奪う糖尿病

糖尿病は今や世界の成人のおよそ10人に1人（10.5%）、5億3700万人が抱える病気です。一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、年間実に670万人以上が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。これは世界のどこかで、5秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算となり、AIDSによる死者に並ぶ数字です。ちなみに、国連決議が採択された2006年は10秒に1人でしたから、残念なことに16年間で半分の秒数になってしまいました。このまま進むと、世界の糖尿病人口は、2045年には約7億8300万人に達することが予想されています。糖尿病患者の増加は特に発展途上国で顕著に見られ、経済成長、生活水準の向上、教育改善の大きな妨げとなっています。

IDFによると・・

- ・2021年 世界の成人（20-79歳）糖尿病人口は5億3700万人⇒2045年には約7億8300万人に増加と予測。そのうち、50.1%は診断されていない状況です。糖尿病の診断の遅れは合併症発症リスクを高めます。
- ・2021年 世界で670万人が糖尿病の合併症などで死亡しています。
- ・世界の20歳以下の1型糖尿病患者数は、120万人以上、そのうち54%は15才以下となっています。184,000人が毎年新たに1型糖尿病と診断されています。
- ・糖尿病の成人の4人に3人が低・中所得国に住んでいます。
- ・2021年 世界の糖尿病治療と合併症管理にかかる医療費は9,660億USD（約143兆8300億円）となり、15年間で316%増加しました。

出典：IDF Diabetes Atlas 10th edition 2021

#### 日本国内での脅威

[2007テレビ/新聞報道一覧](#)  
[東京タワーブルーライトアップ](#)  
[血糖値測定イベント](#)  
[ダンロップフェニックスイベント](#)  
[ポスターコンクール](#)

[>>トップページ](#)



2016年に実施された糖尿病実態調査※によると、日本には約1000万の「糖尿病が強く疑われる人」が存在します。さらに、「糖尿病の可能性を否定できない人」も約1,000万人おり、合計で総人口の15%を超える約2,000万人の糖尿病患者および予備群がいると推定されています。糖尿病の重症化予防のためには早期発見・早期治療が重要ですが、医療機関や健診で糖尿病といわれたことのある人の中で、「治療を受けていない」人の割合は、特に男性の40~49歳の働き盛り世代で最も高く、約5割が未受診または治療中断という状況です。糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないとから、疑いがありながらそのまま治療を受けないケースが多くあることが、その要因と考えられています。

※平成28年国民健康・栄養調査

第61回 ダイアベティス ウィーク 2025年11月9日(日)~11月15日(土)

～みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」～

共催／日本糖尿病学会、JADEC(日本糖尿病協会) 後援／厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、日本糖尿病財団、NHK



画像はイメージです。

「糖尿病」から、世界共通語の“Diabetes”「ダイアベティス」へ

# 11月14日 World Diabetes Day

(ワールドダイアベティスデイ／略称：WDD)

主 催：WDD実行委員会（日本糖尿病学会、JADEC（日本糖尿病協会））

厚生労働省、スポーツ庁、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、日本看護協会、日本栄養士会、日本薬剤師会、日本病院経営研究会、健康保険組合連合会、国民健康保険中央会、日本介護支援専門員会、日本内科学会、日本内分泌学会、日本小児科学会、日本脳卒中学会、日本眼科学会、日本肥満学会、日本老年医学学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本高血圧学会、日本難聴症学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本結合診断学会、日本臨床内科医会、日本臨床検査医会、日本小児・児童青年糖尿病学会、日本肥満症治療学会、日本サルコヘア・フレリール学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本糖尿病栄養学会、日本くずし・糖尿病学会、日本糖尿病医学法学会、日本臓器再生医療技術学会、日本糖尿病看護指導士認定機構、日本糖尿病財団、鉢木万平糖尿病財团、健康・体力づくり事務団体会、日本健闘運動指導士会、日本生活習慣病予防協会、全国栄養士会設施会設施協会、東京都、東京都医師会、東京都糖尿病対策推進会議、健闘日本21推進全国連絡協議会、日本健康会議

すこやかな毎日、  
ひとときな人生

100

すこやかな毎日。  
ゆたかな人生  
*Glico*

100

1

18

The Novo Nordisk logo consists of a stylized animal silhouette above the brand name "novo nordisk".

ゴールド協賛：株式会社三和化学研究所

一般協賛：異邦株式会社、住友ファーマ株式会社、帝人ファーマ株式会社、日本ペーリング・イングハイム株式会社、アーケレイ株式会社、LiteScan Japan株式会社、第一三共株式会社、テムラ多様株式会社、アボット・ジャパン合同会社、MSD株式会社、株式会社おじいちゃん健康、サラヤ株式会社、沢井製薬製菓株式会社、株式会社スズラン、種子日本ディカル株式会社、ティーハーブ株式会社、株式会社ニチエフアーズ、二郎株式会社、日本メドリ・リンク株式会社、日本リコリス株式会社、PHC株式会社、株式会社紀元堂、ロシードCPC・パッケージ株式会社、田辺三菱製薬株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、エムベック合同会社、サンスター株式会社、ハリテムス・ファーマ株式会社、アステラセネカ株式会社（順不同／2025年10月現在）

## world diabetes day

14 November

詳細は公式HPをご覧ください

「WDD」ホームページ

<http://www.wddj.jp>



ACジャパン支援キャンペーン  
「糖尿病のほんとう」展開中



## 富山県糖尿病対策推進会議について

糖尿病対策について、積極的に取り組む必要があるとの共通認識により、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の三者で、平成17年2月に「日本糖尿病対策推進会議」が設立されました。平成22年には日本歯科医師会、国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、日本腎臓学会、日本眼科医会も加わりました。

その後、各地域においても都道府県等の糖尿病対策推進会議が立ち上がり、「富山県糖尿病対策推進会議」は平成18年3月に活動を開始しました。

富山県糖尿病対策推進会議は、糖尿病の発症予防、早期発見・治療、合併症防止等の糖尿病対策をより一層推進し、県民の健康の増進と福祉の向上を図ることを目的に活動しております。

## 富山県糖尿病対策推進会議 幹事

任期：2024年4月1日～2026年3月31日

所 属	氏 名	WG	医療機関名
富山県医師会（会長） （副会長） （副会長） （理事） （担当理事）	村 上 美也子	○	むらかみ小児科アレルギークリニック
	堀 地 肇		堀地医院
	藤 田 一		藤田内科クリニック
	金 子 敏 行		南星金子眼科クリニック
	寶 田 茂		宝田内科クリニック
日本糖尿病学会	戸 邁 一 之	○	富山大学学術研究部医学系特別研究教授
	蜂 谷 春 雄		高岡駅南クリニック副院長
	石 橋 修		富山西総合病院病院理事
	大 澤 謙 三		大沢内科クリニック院長
	吉 澤 都		富山県立中央病院内分泌・代謝内科部長
	高 野 敦 子		済生会高岡病院内科部長
	藤 坂 志 帆		富山大学医学部第一内科診療准教授
	島 孝 佑		厚生連高岡病院糖尿病・内分泌代謝内科診療部長
	毛 利 研 祐		黒部市民病院糖尿病・内分泌内科部長
富山県糖尿病協会（総務理事）	川 原 順 子		富山赤十字病院総合内科部長
富山県歯科医師会（会長）	中 道 勇		
富山県薬剤師会（会長）	西 尾 公 秀		
富山県看護協会（会長）	岡 本 里 美		
富山県栄養士会（会長）	甲 村 亮 二		
富山県厚生部（参事・課長）	利 田 智 恵		健康対策室 参事・健康課長
富山県内科医会（会長）	里 村 吉 威		さとむら内科医院長
富山県透析医会（会長）	石 田 陽 一		富山市病院事業管理者
富山市保健所（所長）	瀧 波 賢 治		